

頸城中生徒の活躍～各会場でもてる力を発揮しました～

◆上越市科学研究発表会（10/1） 科学部 **奨励賞**
 研究題目 「自然界の円に関する図形的な研究」 3年 佐藤陽斗 さん

◆上越市合同新人大会（9/30）

ソフトテニス部 **ベスト8**

予選リーグ *1位通過
 対三和 1-2 惜敗
 対青海 2-1 勝利
 決勝トーナメント 準々決勝
 対城北 1-2 惜敗

バレーボール部 **ブロック2位**

Aブロック *3勝1敗
 対附属 25-14 勝利
 対潮陵安塚・大島・潮陵 18-25 惜敗
 対板倉 25-21 勝利
 対春日 25-0 勝利

サッカー部 **グループ2位**

対糸魚川 2-1 勝利
 対中等 0-2 惜敗

野球部 **4チームによるトーナメント 2位**

第1試合 対能生 16-0 勝利
 第2試合 対大潟町 5-7 惜敗

卓球部 **団体戦ベスト8**

予選リーグ *1位通過
 対春日 2-3 惜敗
 対雄志 3-0 勝利
 対三和 3-1 勝利
 決勝トーナメント
 準々決勝 対柿崎 0-3 惜敗



◆上越地区中学校駅伝大会（10/13） 陸上競技部

女子の部 **8位**（県大会出場！）

男子の部 **36位**



学校だより



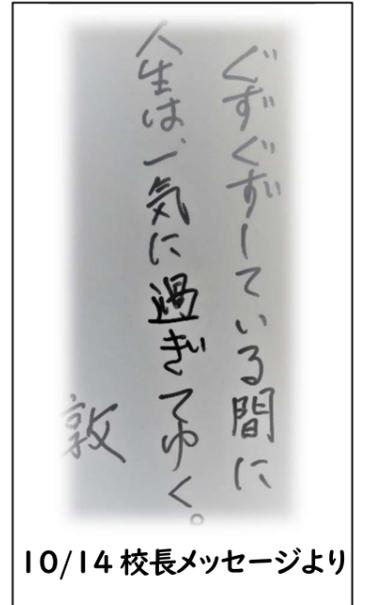
頸城中 HP にアクセス！

頸城

令和3年10月18日 No. 6
 上越市立頸城中学校
 〒942-0164 頸城区潟口 60
 TEL 530-2405 FAX 530-2014
 学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

凡事徹底

平成30年8月に新潟市の開志国際高校が「創部5年目でインターハイ（高校生の全国大会）優勝」という偉業を成し遂げました。そのことを報道するニュースの中で開志国際高校の体育館に貼られていた「凡事徹底」という文字を目にしました。以前、一緒に勤務していた尊敬する先輩が子どもたちに繰り返し話していた言葉でもありました。改めてこの言葉の意味を調べてみたくなり、国語辞典で調べてみました。まずは「凡事」を調べました。そんな言葉はありませんでした。きっと造語だと思います。そこで「凡」という語句の意味を調べました。「平凡であること。すぐれ劣りのないこと。目立つ点のないこと」と書かれていました。続いて「徹底」を調べてみました。「すみずみまで行き届くこと。思想・態度などが一貫していること」と書かれていました。つまり「凡事徹底」というおおよその意味は、「平凡であり目立たないことも一貫して行うこと」と私なりに解釈してみました。



10/14 校長メッセージより

私は、一昨年から全校集会などの場面で生徒・職員の前でこの「凡事徹底」について話をしてきました。子どもは勿論のこと大人でも、小さな事や面倒なことは避けて通ろうとします。そして大きな事や脚光をあびるようなことを好む傾向にあります。しかし、そのようなことは小さな事や当たり前のこと、面倒なことの延長線上にあるのではないのでしょうか。野球の試合を例にとると分かりやすいと思います。9回表の攻撃、2対1で1点負けているとします。この場面で、先頭バッターが我慢し、フォアボールで出塁しました。次のバッターにバントのサインが出たとします。このときにバントが成功するかどうか、この試合の重要な鍵となります。ヒットやホームランを打つことよりバントを決めることの方が簡単そうですが、上手いかないケースがままあります。バントが上手くいくと逆転し、失敗すると負けてしまう試合を今まで何回も見てきました。目立たないことや当たり前のことを確実にやらないと試合が台無しになってしまうのです。

頸城中の生徒には、はなばなしのヒットやホームランのみを期待していません。それよりも、目立たないことや当たり前のこと、誰もができることを確実にやってほしいと思います。

- ① 朝、遅刻しないで登校する。家族、地域の方、友達や先生方へ「おはようございます」と元気なあいさつをする。
- ② 授業中は、板書事項や先生・友達の話した大事なことをノートにしっかりと書き、先生の説明を真剣に聞き、授業に集中する。
- ③ 掃除の時間は丁寧に掃除をおこない、雑巾がけなど人のいやがる仕事にもすすんで取り組む。廊

下や教室にゴミが落ちていたら、拾ってゴミ箱に捨てる。

- ④ 帰宅したら、家庭学習を確実にやる。
- ⑤ 家族のためになるよう、お手伝いをする。
- ⑥ テレビやゲームなどは家族で決めた時間やルールを守って遊ぶ。など

このようなことを日々積み重ねていくことで子どもたちは成長していくのではないのでしょうか。わが子が目立たないことや当たり前のことをきちんとやっているかを観察し、できていればほめてください。そのことで子どもたちは様々なことをがんばれる力を身に付けていくのではないのでしょうか。「凡事徹底」こそ、私たちが生きていく上での基礎・基本と考えるのは私だけでしょうか？

1・2年生の仲間づくり遠足(9月21日)

例年5月に実施していた仲間づくり遠足ですが、今年度から体育祭が5月実施となった関係で、9月実施となりました。1年生は、大潟水と森公園、2年生は、大潟キャンプ場に行きました。コロナ禍で制限がある中、学年ごとに工夫し、友情を深めました。



1年生ウォークラリー



2年生レクリエーション

3年生の日帰り旅行(9月24日)

新型コロナウイルス流行の影響で、9月の2泊3日の修学旅行ができなくなりました。そこで、3年生や保護者の方の意見も参考にしながら、9月24日(金)に、代替の日帰り旅行を行いました。

午前中は、全員でボーリングを楽しみました。昼食では、テーブルマナー講座を行い、ホテルの方からご指導いただきながら、豪華なランチを楽しみました。午後は、バスの中から市内の高校を見て回り、これから始まる受験勉強への意識を新たなものにしました。楽しみあり、学びありの充実した一日になりました。



折り鶴制作協力～くびきの灯り(10月1日～3日)～

「頸城の祭実行委員会」からの依頼を受け、「くびきの灯り」に向け、全校で折り鶴制作に取り組みました。生徒会総務委員が中心となって全校に呼びかけ、昼休みなどを使い、全校で鶴を折りました。9月27日(月)には、生徒会総務委員が折り鶴1万羽をつなげたツリー作りに協力しました。桑原生徒会長が、新聞社の取材を受けた際、「暖かい色のツリーで気持ちを明るくしてほしい」と語ったように、コロナ禍の影響で区の行事が中止となることが多い中、実行委員のみなさんの「成功させたい」という思いに、前向きな気持ちで取り組む活動となりました。



小6授業・部活動体験(10月7日)

三つの小学校から6年生を迎え、今年度も小6授業・部活動体験を行いました。授業体験は、職員が、小学生にも取り組みやすい授業を工夫し、児童のみなさんが楽しみながら中学校の授業に触れる機会となりました。また、部活動体験は、中学生が先輩として、丁寧に小学生の指導を行う姿が見られました。小学生のみなさんからは、「また来たい」という声が聞こえてきました。また、初めは緊張していた小学生のみなさんが、終わりには、違う小学校の生徒に向け、学校ごとに挨拶をし、笑顔で手を振って帰る場面も見られました。



よさこい部「にいがた総おどり(9月19日)」にリモート参加

昨年度は、中止になってしまいましたが、今年度は、希望館でリモート参加することができました。会場には、新型コロナウイルス感染症対策により、参加部員の保護者と教職員のみでの観覧となりましたが、日頃の練習の成果を披露する晴れの舞台となりました。

